

未来まちづくりニュース

柏ビレジ自治会
未来まちづくり部・柏ビレジ
グランドデザイン推進プロジェクト
〒277-0813 千葉県柏市大室1311-48

9



2024年春の運行実現を目指して検討中の上空から見たコミュニティバス運行ルート案（一部）

TOPICS

- 会長メッセージ
- 運用全般チームからの報告
- 来年春の本格運行に向けて～スケジュール案
- 24時間訪問介護看護サービスの報告
- 水辺公園リニューアルの報告
- コミュニティバス「チラシ案」(2023/10/14現在)

■ 会長メッセージ

まちづくりの核

柏ビレジ自治会長 シュピンドラー 千恵子

「柏ビレジグランドデザイン プロジェクト」～コミュニティバスの運行へ向けてラストスパート!



柏市の土木部長に要望書を提出しました

皆様、こんにちは。今夏は例年になく猛暑が続きましたが、ようやく秋めいて参りました。日頃、自治会活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。さて、早いもので2023年度上期が終わりました。本紙では総会以降の4か月間のコミュニティバス運行に関する進捗をご報告いたします。

5月21日に開催された総会において、「第3号議案コミュニティバス運行検討継続について」をご審議いただき、書面評決とあわせて92%のご賛同を得て承認いただきました。運行を実現可能にするため路線やかかわる経費を大幅に見直しました。昨年11月に実施した実証実験では、ニーズ及び可能性を計るために最大公約数で実施しましたが、3路線を1路線に、朝から夕方までの12時間を昼中心の7時間にするなど、実証実験から700万円を削減した予算案で計画を練り直しました。

柏市による力強いご支援

8月31日、柏市議会議員桜田慎太郎氏と小松幸子氏とともに、柏市長、柏市土木部長あてに「公共交通空白不便地域におけるコミュニティバス運行実現に向けての要望書」を提出して参りました。要望書では、初年度400万円、次年度300万円、次々年度300万円、計3年にわたり1,000万円の補助金を要望しています。高齢化するまちの交通不便の現状を訴えるとともに、自治会運営のコミュニティバス運行が軌道に乗るまでの補助をお願いしました。コミュニティバスの運行は、受益者負担が原則です。バスに乗車する方が、回数券や半年/年間パスポートを事前にお買い求めいただきますが、同時に、企業や店舗、会員の皆様から寄付を募ります。柏市には、それでも収支不足が出た場合の補助としてお願いしました。承認されることを祈っています。

順次スタートした説明会の開催

9月には、自治会役員、支部長、相談役及び田中ふるさと協議会会長及び近隣町会長、吉田記念テニス研修センター(TTC)に対し、それぞれ機会を分けて精力的に進捗説明を行いました。バス路線沿いの近隣町会に対しては、柏ビレジ自治会運営のコミュニティバスを一定の条件で、他町会住民の皆様でもご利用いただける旨を説明いたしました。住民の皆様に対しても、11月以降に住民説明会を順次、開催させていただきますが、来る10月21日、22日に開催する「柏ビレジ自治会40周年記念式典及びオクトーバーフェスト2023」の会場においても、ご来場者向けに簡単なブースを設ける予定ですので、お気軽にお立ち寄りください。

懸念事項とお願い

最後に重要なお知らせです。国土交通省により、本年9月、全国一斉にバスの運賃が改定され、2023年10月から値上がりします。但し、年間契約しているバス料金については、今期2024年3月までは変更なく、来期から一般料金が改定される可能性があります。全体的にバス運賃が値上がりする可能性がありますので、一人でも多くの方がコミュニティバスをご利用いただければ、コストメリットは大きくなります。この機会に是非ご検討ください。

高齢により免許返納をする方が増えています。車がなくても町に気軽に外出向くことができ、買い物に困らない、家族に頼らないで外出できる暮らしを目指しています。運行実現に向けてご理解ご協力をお願いいたします。

■ 総会後におけるコミュニティバスの準備状況～運行全般チームからの報告

利便なまちづくり

運行全般チーム・リーダー 松本 彰

(タスクメンバー: 大野達雄、柴田豊、高橋秀彰、高柳キミエ、寺田雅年(50音順))

■ 総会後における取り組み



SDGs17の目標の一つです

柏ビレッジにおけるコミュニティバスの運行計画は、今年度の自治会総会で、その推進について付帯条件付きながら住民の皆様にご承認いただき、来年4月の運行開始を目指して鋭意その取組を進めているところです。コミュニティバスの継続的な運行は、「SDGs(持続可能な開発目標)～住み続けられるまちづくり」の一助となるものであり、住民の力を結集して是非実現したいと思っています。行政からの大きなご支援とともに、近隣町会との連携も実現し、独自の仕組み作りを目指しています。

■ 実現に向け必要な住民によるご支援

最終的な運行ルートや運行日、運行時間、運行本数など、具体的な運行計画の確定までにはもう少し時間を要しますが、このコミュニティバスは柏ビレッジを中心に、田中地域・花野井地域全体の「住民の足」として定着させることを目指しています。その実現に向けては克服しなければならない課題は多々ありますが、その一つにコミュニティバスの安定的な運行に向けての住民の方々の強力なご支援取付けがあります。昨年11月の実証実験時に設定した当初の予算額から大幅に削減した現時点での試算では、コミュニティバスの運行には週3日の運行でも年間約1千万円の運行費用がかかります。そのため、この運行コストを賄うためには、多くの住民にコミュニティバスを利用していただくことが欠かせません。一人でも多くの方々に、乗り放題で乗車できる半年/年間パスポートや回数券をご購入いただき、運行コストの多くを賄いたいと考えています。

■ 個人や企業、法人によるご支援

更に、コミュニティバスを利用しない住民の方々にも、今後、高齢化が進み免許返納に伴う移動手段の必要性を実感いただく前に、今回の柏ビレッジの趣旨にご賛同願ひ、可能な範囲でご支援いただければと考えています。具体的な支援方法としては、拠出金額1口1,000円(何口でも可)の支援金をお願いするつもりです。なお、その方には、支援金額相当分の回数券をお渡しするつもりです。また、合わせて柏ビレッジと関わりのある企業、法人の方々にも、地域との関係強化、地域貢献にご賛同、ご協力をいただきたいと考えています。具体的には、協賛金は1口10,000円(何口でも可)として、今後の継続的なご支援・ご協力をお願いするものです。



コミュニティバス誕生に向け温かいご支援を

■ 住民参加による支援組織の立ち上げ



住民の力を結集して実現させましょう

また、上記の支援金以外にも、コミュニティバスの運行が実現できるよう住民参加による支援組織の立ち上げも必要です。今後の継続的な運行を実現するためには、住民の方々のご意見・ご要望を反映する機会や場の設置は欠かせません。具体的な体制づくりは今後の課題となりますが、自治会、ビレッジ内の諸団体、住民の方々等にご協力いただきながら組織化を図っていきたいと考えています。

住民の皆様には、柏ビレッジの置かれている厳しい環境や課題についてご理解いただき、コミュニティバスの持続可能な運行実現に向けての支援金や支援組織づくりへのご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、コミュニティバス運行全般について検討を進めている上記タスクメンバーは、コミュニティバスの早期かつ持続可能な運行を実現すべく、今後とも全力で取り組んでまいります。

■ 柏ビレジコミュニティバス～来年春の本格運行に向けて

便利なまちづくり

柏ビレジランドデザイン推進プロジェクトリーダー
交通タスクリーダー 大野 達雄

■ 基本準備期間 (2023年6月～8月)

本年5月の柏ビレジ年次総会から早くも4ヵ月以上が経過しました。私たち未来まちづくり協議会・交通分科会のタスクメンバーは、総会決議の結果を受け、早速、活動を再開しました。6月～8月を基本準備期間として位置づけ、昨年11月の実証実験とその直後に実施したアンケート結果から抽出したさまざまな課題の洗い出し作業から着手。しかし、その見直し対象も「運行ルート」、「バス停」、「運行日」、「時刻表」、「PR方法」、「IT化」、「収支案作成」、「役割分担」など多岐にわたりました。

その中でも、特に悩んだのが見直し作業から本格運行開始までの「スケジュール」作りでした。本格運行開始から逆算して、「大幅な予算減の中、利便性をできるだけ損なわず、運行サービスを実現するために必要な期間とは？」と、タスクメンバー全員で検討した結果、10ヵ月間のスケジュールで進めることとなりました。しかし、限られた人数で、月1回2時間の定例会議では、十分な議論が難しいため、担当分野に応じて、チームまたは個別に作業を進めることとなりました。メンバーの皆さんには大変なご苦勞をおかけしてしまいましたが、各位の積極的なご協力のおかげで、3ヵ月間という短期間で本格運行に向けての新たな基本案を作成することができました。

■ プロモーション期間 (2023年9月～12月)

運行全般に関する基本案が固まった段階で、住民への説明会に先立ち、自治会役員、支部長、相談役に進捗状況について報告しました。また、今回、柏市からの要望もあり、コミュニティバスの運行ルート沿いの地域に関係する田中ふるさと協議会会長や近隣町会長、吉田記念テニス研修センター(TTC)の責任者に対しても同様の説明会を実施しました。こうしたさまざまな説明会を通していただいた貴重なご意見・ご提案を踏まえ、絞り込まれた課題をタスクチームで議論を重ねた結果、本紙に掲載した「チラシ案」の内容に集約されました。

■ 実施可否検討期間とその後の予定 (2024年1月～4月)

今後、柏ビレジ及び近隣地域の住民説明会を11月以降に順次実施していく予定です。その席でバス利用を希望する皆様には、期間中乗り放題でご利用いただける「半年/年間パスポート」の事前予約申込書*をお渡しします。これを指定の期日までにお申し込みいただくことで、割引料金にてご購入いただける仕組みです。

(※説明会へのご参加が時間の都合などで難しい方は、別途、自治会・事務局などに申込書をご用意させていただく予定です。)

その結果、以下の「本格運行に向けたスケジュール案」のとおり、年末までの予約申込件数や企業、店舗、個人の皆様からの寄付金などを加えた集計結果で、総会でお約束した「運賃の見込み額が運行コストをカバーできるか否か」を最終判断します。そして、その結果を年明けの1月に、住民の皆様には発表させていただく予定です。来年春のコミュニティバスの本格運行実現に向け、皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

■ 本格運行に向けたスケジュール案 (抜粋版)

	2023年6～8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月	4月
段階	基本準備期間 (運行全般)	プロモーション期間 (説明会・ニュースレター等配布)				実施可否 検討期間	可否結果により 対応が二分		運行開始 (予定)
スケジュール									
主な内容	* 運行全般の洗い出し * PR業務の洗い出し * 基本案作成	* 説明会① (自治会役員・支部長・相談役) * 説明会② (田中ふるさと協議会会長・近隣町会長・吉田記念テニス研修センター/TTC) * 説明会③ (柏ビレジ住民・近隣住民) * 柏市への補助金申請 * コミュニティバス支援制度の創設・実施 * 店舗・企業・商業施設とのタイアップ * IT化の導入検討、ほか				* 全体収支見込を算出 ↓ * 実施可否の検討・発表	■ 実施可の場合： ・ 事前申込者への乗車券販売 & 資料配布 ・ 旧回数券の交換 ■ 実施不可の場合： ・ 運行中止・チーム解散 ・ 事前予約金 & 旧回数券返金		運行開始へ

■ 24時間訪問介護看護サービスの報告

健康なまちづくり

柏ビレジ自治会
副会長 森田 幸次

■ 念願の「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス」が7月に導入されました!



「トータルケアステーション和気あいあい」のスタッフの皆さん

松葉町にある「トータルケアステーション和気あいあい」がサービスを展開します。訪問介護・看護サービスを含め、在宅での支援を中心として展開されているので、安心して、「人生最期まで住み慣れた柏ビレジの”我が家”で暮らす。」が実践できます。

そのためには、大変重要な「健康寿命の延伸」を中心とした昨年から行っている「柏ビレジ老年学講座」を更に進化させ、「田中地区の住民の皆さんにも受講できるよう「柏北部地域包括支援センター（ほくほくセンター）」、「医療創生大学国際看護学部」、「和気あいあい」と田中地区に展開している介護事業者の協力を得て、引き続き行いたいと思っています。

併せて、皆さんと住みやすい柏ビレジにするため「柏ビレジ老年学会」を創設します。この学会は住民の皆さん・大学教員・学生・介護・看護に関わる事業者の皆さんで、「ビレジ（田中地区）を更に住みやすい街にする」をテーマに議論する会です。会費ゼロ・参加自由・不定期開催です。学会参加希望の方は、下記の柏ビレジ自治会事務局まで、Eメールまたは電話にてお申込みください。

＜柏ビレジ自治会事務局＞ Eメール: jichikai@kashiwa-village.com 電話: (04)7132-1925

※学会開催日時のお知らせは、HP、メーリングリスト、回覧で対応します。

■ 「水辺公園リニューアル」の報告

美しいまちづくり

未来まちづくり部長
高柳 キミエ

■ 世代を超え誰からも愛される公園に



水質が改善し、安全な木道に整備された「柏ビレジビオトープ」「水辺公園リニューアル」があります。

柏ビレジ水辺公園や第5公園一帯は、沼杉と呼ばれる美しい「ラクウショウ」や「メタセコイア」などの高木が森を形成しています。柏ビレジ近隣公園の約3倍の広さ（約6ha）を誇る水辺公園は、野鳥や小動物もやって来る柏市内でも貴重な自然豊かな公園です。「柏ビレジグランドデザイン」は、柏ビレジが目指すべき将来像とその実現に向けた中長期の全体構想であり、その重点項目の一つに美しいまちづくりをコンセプトにした

多くの住民の皆様のご協力をいただき、2021年10月「柏ビレジ水辺公園リニューアル」アンケート調査を実施しました。その結果「水辺公園で改善してほしい点」の中で、「①ビオトープの改善・修繕」「②遊歩道の修繕」「③池の整備」が上位を占めました。更に、「水辺公園で必要と思われる施設・設備」では「①ベンチ」「②トイレ」「③舗装され、歩きやすい遊歩道」が上位にランクされました。開発から40年以上が経過したこの頃、公園内の水質悪化や、さまざまな施設・設備の経年劣化による老朽化が顕著になってきており、徐々に公園から人々を遠ざける要因にもなっていたようです。

こうした課題に対し、柏ビレジ自治会（環境部や未来まちづくり部など）では、柏市住環境再生課や公園緑地課、下水道工務課などさまざまな部署と連携しながら、公園リニューアルに取り組んでまいりました。特にビオトープ横の井戸ポンプを長時間稼働することで、アオコの発生を抑制するとともに淀んでいたビオトープの水質も大幅に改善することができました。今後、柏市の「都市再生整備計画」を含めた法制度の活用等により、古いベンチの更新やフェンスの修理、見通しの悪い植栽の剪定、トイレの設置など、公園内の施設・設備の見直しと改善を進め、安全・安心に自然に親しみ、楽しめる、誰からも愛される公園の実現を目指してまいります。

「コミュニティバス」の運行をご一緒に実現させませんか？

柏ビレジコミュニティバス 2024年春の運行開始を 目指して、只今 準備中です！

2022年11月、実証実験で柏ビレジ内を走行するコミュニティバス

本格運行に向けての基本方針

第42回柏ビレジ定時総会の結果を基に設定した基本方針です。



■ 運営規模：

持続可能な運行を実現するため、必要最小限の規模でスタートします。

■ 運行ルート：

「柏たなか駅～柏ビレジ」間と「柏ビレジ～モラージュ柏」間を運行するルートとします。

■ 東武バス：

東武バスの運行ルートと重なる「柏の葉キャンパス駅」行きのルートは断念します。

■ コスト削減：

運行コストは運行時間に比例するため、昼を中心に朝・夕の時間を圧縮した時間帯とします。

■ 運行費：

「利用者負担」を原則とします。

■ 乗車対象者：

主に柏ビレジ住民および運行ルート沿い近隣エリアの住民やTTC等施設利用者の皆様です。

■ 補助金：

運行を更に確実なものにするため、行政等からの補助金を獲得すべく交渉を継続します。

■ 事前予約：

運行後の赤字化を回避するため、いきなり本番に移行せず、（半年/年間パスポートの）「事前予約」の段階で実施可否の判断をします。

■ 最終判断：

事前予約の段階で運行コストがカバーできないと判断された場合には、運行を断念するとともに柏ビレジ自治会・未来まちづくり協議会・交通分科会の専門チームも解散します。

■ お問い合わせ先： 柏ビレジ自治会・事務局 (Eメール: jichikai@kashiwa-village.com)

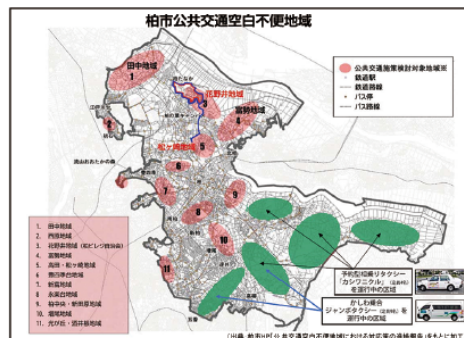
TEL: (04)7132-1925 (月・火・木・金/9:30-13:00 土/9:30-12:00 休み:水・日・祝祭日)

柏ビレジ自治会定時総会の結果と本格運行実現に向けて

2023年5月に開催した柏ビレジ自治会定時総会にて、「コミュニティバス運行検討継続について」の議案に対し、条件付きながら92%の賛同を得て承認されました。その条件とは、『2023年末までの「半年/年間パスポート」(=乗り放題定期券)の事前予約の申込み件数が少ないなど、年間の運行コストに対して運賃収入でカバーできない場合には、2024年春に予定している正式運行を断念する』というものです。運行実現に向け、多くの皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

柏市内の公共交通空白不便地域

柏市内には、バス停から300m以上離れた地域を指す「公共交通空白不便地域」が計11ヵ所あり、その一つに柏ビレジが含まれる「花野井地域」があります。高齢化も進む同地域にお住まいの皆様の中には、路線バスルートから離れた場所に住んでいるため、買物や通院、飲食など日常生活での不便さを実感している方々が少なくありません。



柏市内に散在する「公共交通空白不便地域」

柏ビレジ自治会で取り組んでいる交通対策

このような年々深刻化する交通アクセスの課題を少しでも解消するため、柏ビレジ自治会では2022年2月に、自治会長を含む住民有志15名と運行事業者2名で構成されるボランティアによる専門チームを立ち上げました。同チームが核になり、2年近くにわたり柏ビレジ住民のみならずその近隣にお住まいの方々にも広くご利用いただける交通手段として、2024年春に運行開始を予定している「柏ビレジコミュニティバス」の実現に向け、鋭意、準備を進めています。

利便性の高いバスの実現を目指して

柏ビレジ自治会では2022年11月に平日約1ヵ月間の「実証実験」やその後の住民アンケート調査を実施。その結果などを踏まえて、「利用者負担」を原則に、乗り放題の「半年/年間パスポート」の導入など、できるだけ低予算で利便性の高いコミュニティバスの運行が実現できないか、さまざまな視点から検討してまいりました。その検討結果を次ページ以降に〈案〉としてまとめていますので、是非、ご検討の上、一人でも多くの皆様にご利用いただければと思います。



「住民の足」を目指すコミュニティバス

地域に根ざした「住民の足」実現にご支援を

「コミュニティバス」の運行は、地域の発展や活性化に不可欠なものです。交通不便を実感している住民の皆様の生活の質を向上させ、地域の魅力を高めることで、持続可能な「まちづくり」に貢献できるものと考えています。老若男女を問わず、路線バスから離れた場所にお住まいの地域の住民同士が連携し、力を合わせ、地域に根ざした身近な「住民の足」を是非、実現させましょう！皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

柏ビレジコミュニティバス～運行内容の概要 (2/2)

■ 運賃

- ・「回数券」や「半年/年間パスポート」(乗り放題定期券)でご利用いただけます。

■ 回数券

- ・1セット2,000円※(税別)で販売。(※@100円券 x 22枚綴り)
- ・1回の乗車で、大人(高校生以上)は@100円券 x 2枚、子ども(小・中学生)は@100円券 x 1枚です。
- ・回数券は1年間有効です。(※但し、回数券は払い戻しできません。詳細は別途ご案内)
- ・未就学児は、原則として同伴者1人につき2名まで無料です。
- ・「貸切」による運行のため、法律上、一般の路線バスのような現金でのご利用はできません。
- ・回数券の車内販売もしていません。

■ 半年/年間パスポート

- ・パスポート(半年間/1年間)は、乗り放題でご利用いただける大変お得な定期券です。
- ・パスポートは、ご本人のみご利用いただけます。(※パスポートの払い戻しについては、現在、検討中です)
- ・本格運行は、2024年4月からの予定です。2023年末までに「事前予約」でお申込みいただいた方は、以下のような「特別割引価格」にてお買い求めいただけます。

● 半年パスポートの料金：

本格運行時は2万2千円(税別)ですが、事前予約による購入は2万円(税別)となります。

● 年間パスポートの料金：

本格運行時は3万2千円(税別)ですが、事前予約による購入は3万円(税別)となります。

■ 回数券や半年/年間パスポートの購入について

- ・回数券や各パスポートは、2023年末までの事前予約を経て、2024年2月から販売する予定です。具体的な販売場所、時期、方法などについての詳細は後日ご案内します。

■ ご利用時のヒント

- ・月5回(往復)までバスを利用する場合には、回数券の方がお得です。
- ・月6回(往復)以上バスを利用する場合には、半年/年間パスポートがお得です。
- ・2022年11月に実施した実証実験では、コミュニティバスの移動目的の上位を「買物、商業施設、駅、飲食」などが占めました。そのため、利用者の利便性を考慮し、最寄り駅へのアクセスとともにカスミスーパーやモラージュ柏等の店舗で買物いただけるようにルートを設定しています。
- ・コース沿いの主な商業施設や店舗、飲食店、スポーツ施設、温浴施設などでパスポートをご提示いただくことで特典(※割引やポイントサービス、プレゼントなど)が受けられるよう準備中です。
- ・実証実験で運行したヨークマートや柏の葉キャンパス駅には、既存の東武バスのバス停に乗り継いでいただくか、つくばエクスプレス(TX)をご利用ください。
- ・コミュニティバス運営事務局では、利用者様の利便性等を考慮し、時刻表などの基本的情報については、できるだけ、紙だけでなく、LINEなどによる情報提供なども予定しています。